

素敵な宝塚を再発見！ 宝塚防災ラジオ de ウォーク

早春の青空が鮮やかな運動日和、天候に恵まれた3月11日(日) ラジオを聴きながら、家族や仲間たちと楽しく歩いて、防災と私たちの街を知る「宝塚防災ラジオ de ウォーク」“ピピアめふ”の2階に集合、準備を万全にスタートです。売布神社～ぷらごこむ1～中山寺～宝塚あいわ苑そしてあいあいパーク、松尾神社や仏閣(お寺と歴史と古い昔の佇まいを残している名所旧跡を仲間と語らい、家族と一緒に、ご夫婦、兄弟、親戚が楽しそうに歩いています。

宝塚市街地は阪神間でも整備され緑の多い、地域住民にとって住みやすいところです。この「ラジオ de ウォーク」で街を歩いていて、行きかう、すれちがう地域の人達と挨拶を交わしながら約8K(キロ)の楽しい歩きでした。災害が起きた時に、街並を知っていることは大切。参加した人達も“我まち宝塚”という“誇り”を改めて認識した一日でした。みなさん！お疲れさまでした。SEE YOU AGAIN

写真をご覧になって誌上で楽しんでください。



Report

助けが必要になっても安心して暮らし続けたい 生活支援の会コスモス

昨年10月、中山台ニュータウンで地域住民による新しいグループ「生活支援の会 コスモス」がスタートしました。「この地に住んで40年。」と話す代表の西部さん、と同じく中山五月台に住む副代表の長濱さんは、「病気や障害を抱えたり、介助が必要になっても、安心して暮らせる町に」との思いで、設立しました。

中山台をはじめ、市内に住む高齢者、要介護・要支援者、身体障害者、認知症の方々、の通院・買い物などの同行介助(付き添い)から、庭の手入れや食事・照明器具の交換といった家事援助まで生活全般を支援しています。介助・援助料金は30分300円(ガソリン代など交通費は別途)。

高低差のある場所柄もあってか、よく利用されているサービスが車での通院介助です。玄関から車への歩行、車の乗り降り、院内での付き添いまで丁寧に介助しています。

利用者の高橋昭代さんは、西部さんのご近所さんであり、お知り合いにもご紹介されているお得意様。先日、退院の同行介助を依頼した時には、「病室から荷物をお願いしたり、付き添っていただいて、ホッとしました。」と。

生活支援の依頼は様々です。長濱さんは、「飲む薬が見当たらない。」と連絡を受けて一緒に探したこともあるそうです。「ありがとう、助かりました。」と喜んでくださる姿に元氣ももらっています。

取材中にも三本の電話がありました。

不安を抱える一人ひとりに寄り添いたい——。こうした気持ちを原点に、日々取り組まれています。

ボランティア募集

取り組みに賛同し活動して下さる方を募集しています。

車で送迎可能な方や家事援助だけでもOK。

兵庫県下の大規模ニュータウン(86地区)のうち、開発から30年以上経過した地区は約7割(63地区)。人口減少又は高齢化が進んでいる地区は約6割(55地区)。再生への取り組みも進められています。(兵庫県ニュータウン再生ガイドラインより)

